

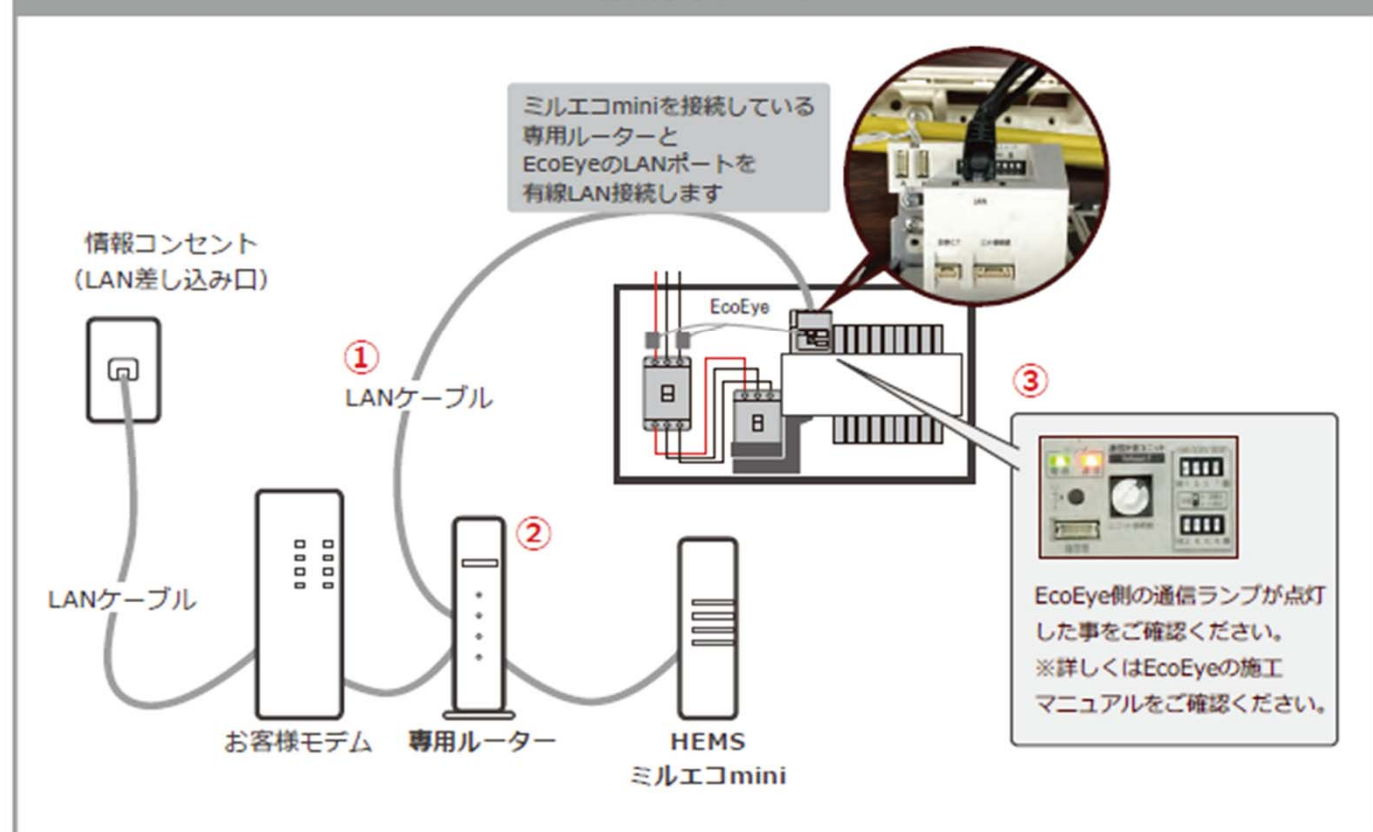
## ECHONET Lite分電盤と専用ルーターの接続確認

### ■ EcoEyeと専用ルーターとの接続確認

- ①「EcoEye」とミルエコminiを接続している「専用ルーター」のLANポートをLANケーブルで接続します。
- ②「専用ルーター」の電源を入れ、ルーターが動作開始してから、通信計測ユニットの電源を入れてください。
- ③正常に接続された場合、EcoEye本体の「電源」LEDが緑点灯、「通信」LEDが橙色点灯or点滅となります。

※詳しくはEcoEyeの施工マニュアルをご確認ください。

### ■ 接続イメージ



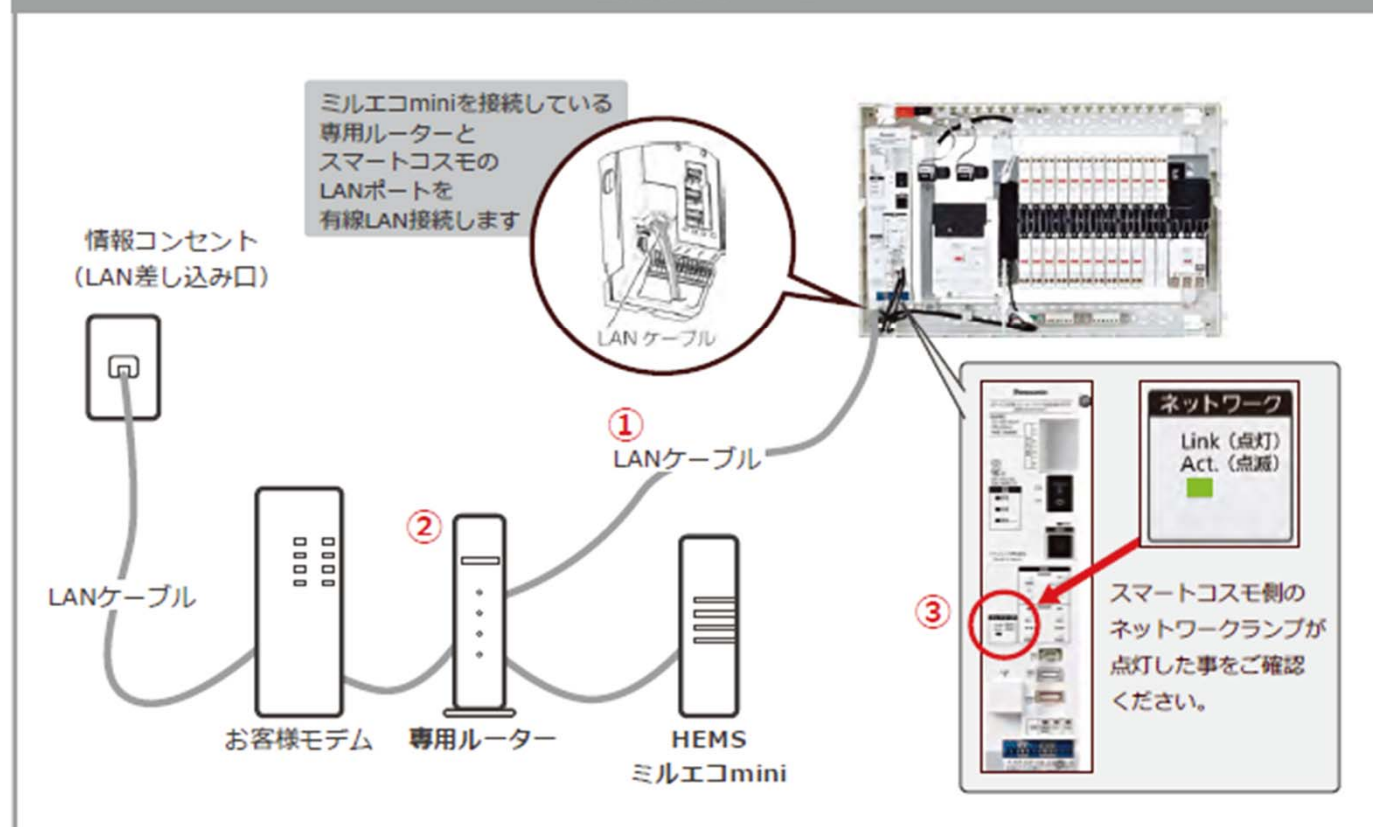
## ■スマートコスモと専用ルーターとの接続確認

- ①「スマートコスモ」とミルエコminiを接続している「専用ルーター」のLANポートをLANケーブルで接続します。
- ②「専用ルーター」の電源を入れ、ルーターが動作開始してから、計測アダプタの電源を入れてください。
- ③正常に接続された場合、「ネットワーク」のLink/Act.LEDが緑点灯となります。

※詳しくはスマートコスモの施工マニュアルをご確認ください。

※負荷が接続されていない分岐回路であっても、分電盤の計測設定はOFFにしないでください。Life Assistの電力量表示等が正確に行われなくなります。

## ■接続イメージ



## ■ LifeAssist (https://hems.lixil.co.jp) の利用設定方法

### 🔌 ECHONET Lite分電盤の設定画面表示



- ①その他を選択します
- ②設定を選択します
- ③「収集するデータの由来の設定」から「分電盤由来」を選択して保存します
- ④ECHONET Lite分電盤連携設定を設定します

### 🔌 分電盤の利用設定①

以下の通りに設定し、保存します。

**① ECHONET Lite分電盤連携設定:**  
利用する (ReleaseF) を選択

**② データを収集する対象の分電盤:**  
IPアドレスが表示されますので、グラフ表示させる分電盤を選択します。  
※複数ECHONET Lite分電盤がある場合、複数IPアドレスが表示されますがグラフ化できるのは選択した1台のみとなります。

**③ ECHONET Lite分電盤分岐ブレーカー収集終了:**  
通常自動で分岐回路数を収集し設定するので正しく反映している事を確認します。

**④ ECHONET Lite分電盤タイプ:**  
EcoEye/スマートコスモ/その他より該当機種を選択します。

**⑤ ECHONET Lite分電盤ブレーカー収集ON/OFF:**  
「収集する」を選択します。  
※「分岐ブレーカー」とは通常の分岐回路を指します。

**⑥ ECHONET Lite分電盤拡張計測収集ON/OFF:**  
「収集する」を選択します。  
※「拡張計測」とは、EcoEyeでは「拡張計測ユニット」の事を、スマートコスモでは「特定回路」の事を指します。  
詳しくは各分電盤のマニュアルをご確認ください。

**⑦ 「保存」を押下します**

### 🔌 分電盤の利用設定②

再度「ECHONET Lite分電盤連携設定」を確認し、有効にするチャンネルとチャンネル名を設定します。

**① CHと設定名 CH**  
収集するチャンネルを「有効」にしてチャンネル名を入力します。  
EcoEyeは「EcoEye設計シート」を、スマートコスモは「施工チェックシート」等で回路CHの名称をご確認ください。

**② 拡張計測用のCHと設定名 CH**  
収集するチャンネルを「有効」にしてチャンネル名を入力します。  
※「拡張計測」とは、EcoEyeでは「拡張計測ユニット」の事を、スマートコスモでは「特定回路」の事を指します。  
詳しくは各分電盤のマニュアルをご確認ください。

**③ 「保存」を押下します**  
これでECHONET Lite分電盤の設定は完了です。



## ■ 太陽光発電の利用設定方法

### 🐼 分電盤の設定例

EcoEyeに太陽光発電システム（パワーコンディショナ）2台とエコキュート1台が接続されている場合の設定例を以下に示します。

**① CHと設定名 CH**  
エコキュートは通常の分岐ブレーカー側にて接続をされています。  
※分岐ブレーカーを200V対応にする必要があります。詳しくは各分電盤のマニュアルをご確認ください。

**② 拡張計測のCHと設定名 CH**  
パワーコンディショナは拡張計測回路に接続されるので、該当するチャンネル※を「有効」にし、設定名に適当な名前をつけます。  
※EcoEyeは「EcoEye設計シート」を、スマートコスモは「施工チェックシート」をご確認ください。

### 🐼 太陽光発電の設定画面表示

太陽光発電量をグラフ化させるには、分電盤の設定後太陽光発電の収集設定を実施する必要があります。

太陽光発電システム2台の設定例を以下に示します。

- ① その他を選択します
- ② 設定を選択します
- ③ ECHONET Lite住宅用太陽光発電連携設定を選択します。

太陽光発電を接続する設定をされている分電盤の場合、「ECHONET Lite太陽光発電」の利用が可能となります。

**① ECHONET Lite住宅用太陽光発電連携設定:**  
利用するを選択

**② 売電単価:**  
ご契約単価を入力します

**③ 住宅用太陽光発電システム1:**  
:名前  
適当な名前を入力します。

**④ 住宅用太陽光発電システム1:**  
:利用状態  
収集するを選択

**③ 住宅用太陽光発電システム2:**  
:名前  
適当な名前を入力します。

**④ 住宅用太陽光発電システム2:**  
:利用状態  
収集するを選択